

Restart

ああ 気がつけばひとりなにもない
ただ過ぎ行く時間に身をまかせた
机のひきだしに残る夢のあと
書きかけの小説がひとつ

噂で聞いたよ がんばってる 君のこと そしたら

涙が急にこぼれて ぼくを包み込んでゆく
懐かしさとくやしさが あとからあとからあふれだす
いつかは同じ目の高さで 話をしたかった
とどかない もうとどかない 夢は空へ消え去ってた

ああ 忘れてた思い出出す
きみからの遠いメッセージ

心に重なる 君の姿 君の声 そしたら

何かが急に壊れて ぼくを強く揺さぶった
涙はふいてこらえて 奥歯をぎゅぎゅっと噛みしめて
いつかは胸を張って笑顔を見せられるように
ゆっくり そうゆっくりと 一步ずつ歩き始めよう

ああ ひきだしを開けて取り出した
書きかけの小説を胸に